

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービスmico		
○保護者評価実施期間	令和7年 1月 20日 ～ 令和7年 2月 28日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	8人	(回答者数) 5人
○従業者評価実施期間	令和7年 2月 1日 ～ 令和7年 2月 28日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7人	(回答者数) 7人
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 18日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	○四季折々の自然を感じながら、野外での取り組みや遊びを十分に楽しめします。	○室内での5領域に沿った活動を終了した後は、外に出て視覚・聴覚・嗅覚・触覚・味覚の五感をフルに使い、四季を感じながら楽しめる活動に取り組んでいます。多くの植物や生き物・星や月等を観察することは、子どもにとって多様性を知り感性を育める絶好の機会になります。	○機器(望遠鏡・ドローン等)を利用しながら、知識を深め興味をもてる環境づくりにしていきます。
2	○畑づくりと収穫した野菜での食育を行っています。	○農作業体験を通して土に触れ遊ぶことで、五感が最大限に刺激されます。種まきから収穫まで自分たちの手で農作物のお世話をすることで成長を観察する力が身につきます。また、収穫して調理をすることでお友達と力を合わせる経験と食事によって五感をフルに使う経験ができます。	○田植え体験や野外でのおやつ・昼食・デイキャン・収穫祭等、家族や地域の方々を含めた取り組みを行っています。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	○地域との交流の機会が不足しています。	○地域の子どもと活動する機会を、活動として提供できていません。	○保護者の方の要望を伺いながら、必要とされている交流の方法等を検討していきます。
2	○保護者同士の交流の機会が提供できていません。	○新規契約の方が随時いたため、交流の機会を検討しましたが実施できませんでした。	○季節行事や交流会を開催する等、改善の工夫をします。 ○保護者の皆さんのニーズに応じた開催方法を検討していきます。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童発達支援・放課後等デイサービスmico

公表日 R7 年 3月 18 日

利用児童数 R7 年 2 月 28 日 回収数 62.50%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	5					
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	5	1				○配置基準を満たしております。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	5					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	5					
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	5					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	5					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	5					
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	5					
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	5					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	5					
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	5					
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	5					
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	5					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	1	3	1			○今後開催を行っていきます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていていると思いますか。	4	1				○引き続き、HUG・LINE・送迎時に様子を伝えるとともに家庭での様子を聞き、共通理解のもと療育を行っていきます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	5					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	5					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	3	1			○季節行事や交流会を開催する等、保護者様のニーズに応じた開催方法を検討していきます。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	5					
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	5					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	5					
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	5					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	5					
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	3	2				○今後も避難訓練、非常食調理を行っています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	4	1				○今後、周知するよう努めます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	3	2				○引き続き、分かりやすく説明を行います。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	5					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	5					
	29	事業所の支援に満足していますか。	5					

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
児童発達支援・放課後等デイサービスmico		R7 年 3 月 18日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	☐		・国の設置基準以上の広さを用意している。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	☐		・国の設置基準＋加配配置を行っている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	☐		・バリアフリー化されている。	・対象児が利用になった時に、より具体的に構造化を行う。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	☐		・清掃と消毒を行い、衛生面に配慮している。 ・活動場面により、適切な場所に変更している。	・活動に合わせたテーブルや椅子を用意する。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	☐		・大人の見守りと安全面に配慮し使用できている。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	☐		・ミーティングや会議等で話し合い、改善を図っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	☐		・開所して初めて行う。	・会議の中で評価結果を共有し、保護者の意見について話し合いを行い、改善に繋げていく。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	☐		・会議や打ち合わせで意見を出し合い、環境面や支援内容について改善を図っている。	・話しやすい環境づくりを今後も行っていく。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		☐		・今後検討する。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	☐		・外部研修や講師を呼び資質の向上に努めている。	・内部研修として、職員の今学びたい困り感に対する動画視聴を取り入れていきたい。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	☐		・支援プログラムを作成し、ホームページに公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	☐		・保護者にお子様の発達や困り感を伺い、計画を作成している。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	☐		・計画の作成や日々の支援では、子どもを主体にした話し合いを重ねている。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	☐		・日々の打ち合わせ、ケース会議、原案会議等で子の姿・課題・目標等を話し合い共通理解のもと行われている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	☐		・ツールは用いていないが、医療や教育機関で行われている検査結果の情報共有し対応している。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	☐		・お子様の状況に合わせて、ねらいや支援内容を考慮している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	☐		・活動会議の中で話し合いを行い、決定している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	☐		・5領域に沿って週ごとで分け、色々な経験が出来るよういろいろな方面から情報を取り入れている。	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		・状況に応じて、個々に合った活動や支援の提供を心掛けている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・毎朝の打ち合わせで確認し、支援を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・翌朝全員で情報共有を行っている。 ・支援終了後に報告・連絡・相談を行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		・HUGのシステムを利用し記録全般を全員がいつでも確認できている。	
	23	定期的にもモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		・保護者のご都合や相談に合わせて面談 ・相談を行い、計画の見直しを行っている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		・児童発達支援管理責任者が参画している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		・必要な機関の連携を行っている。	
	26	併利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。		○		・今後定期的に会を開き、情報共有と相互理解を図っていく。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・学校のコーディネーターの先生や他のデイサービスとの連携、相談支援、保健師等と随時情報共有を行っている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外泊研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○		・情報共有し、支援に繋げている。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○		・今年検討していく。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・日常的にLINEやHUGの記録、送迎時や電話等でお子様についての情報共有を行っている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○		・今後検討していく。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		・利用契約時に説明を行っている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		・面談等で作成にあたり、配慮を必要とする点や支援にあたっての要望を確認している。	・子どもとの面談を行っていないため、今後検討していく。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・ご相談いただいた際には迅速に対応し、力になれるよう心掛けている。	・今後も保護者様との信頼関係を築けるよう努めていく。

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○			・今後開催予定。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		・相談をうけた際には、迅速に対応できるように心掛けている。	・今後も保護者様との信頼関係が築けるよう努めていく。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		・mico通信、Instagramを用いて日々の様子や連絡事項を発信している。 ・玄関には活動の様子を掲示している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・個人名が入ったものは掲示しない。 ・名簿等はシュレッターにかける。 ・SNS等の顔出しに留意していく。	・守秘義務と個人情報保護については職員研修で確認していく。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		・視覚的に伝わる環境も整えている。	・今後、個別に伝わりやすいよう配慮を行っていく。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		・施設内見学等開かれた事業所を目指していく。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・HPで公開している対策委員会は月ごとにスタッフ会議内で行っている。	・保護者の方には、再度HPに公開されている事を伝えていく。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・避難訓練、非常食調理を行っている。 ・BCPの作成をしている。	・今年は7月に開催したため1回の訓練だったが、年2回以上の避難訓練を実施し保護者にも活動計画や通信等で分かりやすいように伝えていく。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		・服薬、てんかん、アレルギーの情報や状況はアセスメント時に聞き取り職員で共有している。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		・随時、保護者に確認をし行っている。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		・安全計画に基づき、毎月会議を行っている。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携を図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		・HPにマニュアルを載せ周知している。	・今後分かりやすいように周知していく。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・ヒヤリハットの再発防止のため、随時検討を行っている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・虐待防止委員会を開催している。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		・利用契約時に説明を行っている。	